

AOI通信

静岡音楽館倶楽部情報誌
DECEMBER 2013 No.72

冬号

インタビュー

東京混声合唱団

山田和樹さん(指揮者)

中村紘子さん(ピアニスト)

静岡音楽館倶楽部のご案内

CONCERT REPORT

AOIゆかりのアーティスト

漆原啓子さん(ヴァイオリン)

静岡音楽館AOIの
市民会議委員ってどんな人?



山田和樹

Kazuki YAMADA



撮影:Marco Borggreve

2009年、指揮者の登竜門、ブザンソン国際指揮者コンクールで優勝し、一躍世界へ羽ばたいた山田和樹さんは若手実力派の1人です。現在、ベルリンに在住し、スイス・ロマンダ管弦楽団首席客演指揮者をはじめ、日本フィルハーモニー交響楽団正指揮者など、大活躍中。2014年には東京混声合唱団の音楽監督に就任されます。そんな山田さんが東京混声合唱団を率いて2月8日に静岡音楽館AOIに登場いただくのを前に、お話をうかがいました。

—— 指揮者になろうと思ったきっかけは？

中学生の頃から児童合唱を、高校生の頃から吹奏楽を指揮していましたが、本格的に指揮者を志したのは、高校2年生の終わりに初めてオーケストラを指揮した時のことでした。管楽器1本ずつの小さなオーケストラでしたが、プロの方で編成されていて、その時の自分の指揮に対する反応の良さや、初めて身近に触れる弦楽器の響きにずっと鳥肌が立っていたような感動体験でした。これをきっかけに指揮者になろうと決め、東京藝大指揮科を目指すことにしました。

—— オーケストラと合唱の両方を指揮されていらっしゃいますが、指揮する上で何か違いはありますか。

より良い音楽をしようと思うことは、オーケストラでも合唱でも変わらず、指揮する上で違いを認識したことはありません。強いて言えば、合唱では指揮棒を使わないことが多いです。楽曲へのアプローチという意味では、合唱には「ことば」があるので、その理解が大切になってきます。オーケストラで得た経験が合唱に生かされ、合唱の経験がオーケストラに生かされて、良い循環の中で音楽活動が出来ていることを幸せに思っています。

—— 来年4月より東京混声合唱団の音楽監督に就任されますね。音楽監督としての抱負を教えてください。

東京混声合唱団（通称、東混）は1956年の創立以来、代々、田中信昭先生や岩城宏之先生が音楽監督を務められてきた由緒ある団体です。自分がその音楽監督に就任するということをととても光栄に思うと同時に、責任の重さも感じ、身の引き締まる思いです。田中信昭先生からは「新しい風を入れてください」というお話をいただきました。これまでの活動を継承すると共に、その活躍の場がさらに広がるよう、精一杯頑張っていきたいと思っています。

—— 好きな作曲家、作品について教えてください。

特にきれいな作曲家がいる訳ではないので、答えに困りますが、一番好きな作曲家はと聞かれたら、モーツァルトが挙げられます。作品はその時々に取り上げるものに一番愛着を感じるので、常に変化しますが、ベートーヴェンの第9交響曲のように、合唱とオーケストラが一緒に演奏する曲は特に好きです。

—— 今回のプログラムについて、聴きどころなど、おきかせください。

全体を貫くテーマとしては「日本語の美しさ」ということになるかと思います。クリスティアン・メイソンさんに世界初演となる曲を委嘱していますが、これも『枕草子』を題材にしたものです。武満徹さんの「うた」から4曲を演奏しますが、どれもどこかノスタルジーを感じさせる作品で、日本語の美しさと音楽が一体になっています。柴田南雄さんの《追分節考》は、その名の通り、民謡を題材にしたものですが、舞台上だけでなく会場全体

を使って演奏するシアターピースで、聴覚だけでなく視覚でも存分にお楽しみいただけたと思います。野平一郎さんの《日本のうた》も、《ずいずいずっころばし》や《この道》などを取り上げていて、次の世代に受け継いでいきたい曲です。

—— 海外を拠点に活動されている山田さん。外国での生活はいかがですか。苦勞されている点、海外にいらっしゃるならではのエピソードがありましたら教えてください。

ベルリンはとても住みやすい街です。特に生活に支障を感じることはありませんが、例えばお医者さんにかかる時に、ドイツ語や英語での医学用語が分かりにくい、といったことはありますね。仕事としては、様々な土地に訪れてホテルを転々とする生活なので、朝起きて「今どこにいるのだったけ?」と思うこともしばしばです。

—— とてもお忙しくされているとうかがいましたが、息抜きはどうされていらっしゃいますか？

ベルリンの自宅でのんびり過ごすことが一番の休養になります。料理や読書、ドライブなどが気分転換にととても良いです。

—— 最後に、2月のコンサートに向けてお客様にメッセージをお願いします。

「日本語の美しさ」をテーマとした演奏会に、是非ご家族で、さまざまな世代の方にお越しいただければと思います。静岡の皆様にお会いできることをとても楽しみにしています。



東京混声合唱団「日本のうた」

2014年 2/8[土] 15:00 開演 (14:30 開場)
全指定 ¥4,000 (静岡音楽館倶楽部会員¥3,600、22歳以下¥1,000) [Pコード=186-746]
静岡音楽館AOI・ホール
出演／山田和樹(指揮)、関一郎(尺八)、野平一郎(ピアノ)、東京混声合唱団、静岡大学混声合唱団
曲目／武満徹：《SONGS》より
柴田南雄：《追分節考》
C.メイソン：《Unseen Seasons》～『枕草子』による(静岡音楽館AOI委嘱作品 世界初演)
野平一郎：幻想編曲集《日本のうた》

山田和樹さんの おすすめ CD



「武満徹:全合唱曲集」

山田和樹指揮
東京混声合唱団
オクタヴィア・レコード OVCL-00488

武満徹の全合唱曲を一枚に収めたアルバム。その初演に多く携った東混

による演奏は、どこか当時の雰囲気をも伝えています。ノスタルジー溢れる「うた」は、その詩の美しさと共に心に染み渡ります。

静岡音楽館AOI学芸員

学芸員雑誌

小林 旬

柴田南雄と《追分節考》

1996年2月は哀しい月だった。2日に作曲家の柴田南雄が、そして20日に武満徹が亡くなった。たてつづけ、というかんじでショックだった。個人的なことになるけれど、柴田南雄は私のたいせつな師のひとりである。が、会ったことはない。その著書によって音楽の多くを学んだのだ。高校生のとき、マーラーの交響曲第5番を聴いていっきにその魅力にとり憑かれた私をさらなる深淵にひきずり込んだのが彼の『グスタフ・マーラー』(岩波新書、1984)だったし、『楽器への招待』(新潮文庫、1983)にあった「能管の、強烈で変幻自在なすばらしい表現力。帝王の威厳から竜神の怨霊まで、美女のしとやかさから狂女の乱舞まで、こんなに幅の広い音楽表現の可能な笛は他にない」という文章に魅かれて能管を学びはじめてしまった。『音楽の骸骨のはなし』(音楽之友社、1978)は『音楽芸術』誌の連載(1971～72)をまとめたもので、ちょっと専門的だが、日本民謡の旋律の構造を骸骨図という独創的な図式によって分析した第1部が画期的だ。

柴田南雄は東京帝国大学で植物学を学び、戦中から作曲していたが、戦後第1世代の作曲家として活躍しはじめた。そして、ヨーロッパでも日本でも、いにしえから現代まで、芸術音楽も民族音楽も、じつに広範な音楽に精通した彼は、長くラジオで解説を務め、多くの人たちが柴田南雄の声とともにかずかずのクラシック音楽、現代音楽を知ったが、彼自身の作品を知る人はそう多くはない。じつは私もそれほどたくさんは聴いていない。残念ながらそもそもその作品が演奏される機会が少ないのだ。しかしそんななかでも彼の代表作、合唱のための《追分節考》(1973)は東京混声合唱団の十八番として日本だけでなく海外を含め、数えきれないほど演奏されている。

追分とは、馬などを追う道、または街道の分岐を意味し、清水だけでなく(追分羊かん、美味しい)全国にその地名があるが、そんなあたりで馬を牽きながら歌われるのが追分節である。メリスマの伸びやかな、なかなか歌うのが難しい類の民謡で、《追分節考》には浅間山、碓氷峠の信州(長野県)側と上州(山梨県)側に伝わる追分節が6つ、用いられている。少年のとき柴田南雄は雄大な浅間山を観て「息がつまるほど感動した」といい、それ以来、彼はこの地の自然をことさら愛していた。追分節は馬子唄なので、合唱団のメンバーはその6つの追分節を、ホールのなかをばらばらに歩きながらばらばらに歌う。そこに、女声によるcis-fis-h-eの美しく透きとおったハーモニーが添えられるが、それは「骸骨論」の応用によって日本民謡から蒸溜された響きである。ときおり追分節と半音でぶつかり不協和音が生じるが、むしろそれが豊かだ。男声はあくまで力強く、女声はあくまで美しい。また、歌だけでなく、民謡を「野卑なり」と断じた明治時代の論文(上原六四郎『俗楽旋律考』)が朗読され、それに異議を唱える奇声が発せられ、尺八が飄飄と追分節を奏でながら道行したりもする。《追分節考》はふつうの合唱曲とはちょっと違う、ユニークなシアター・ピースである。さらにこれらの要素は、指揮者がその場で即興的に指示して構成される。

《追分節考》のコンセプトは、民謡を素材にしながらも前衛的ではあるが、ただいたずらに実験的なのではない。追分節があちこちから聴こえると山の側のように、論文が複数によってばらばらに朗読されるとテキストの意味がしだいに失われて樹々のざわめきのように、奇声は獣たちの声のように、女声のハーモニーは静謐さのなかにときおり鳥たちがさえずるようにも聴こえ、私はこの音楽に、たしかに日本の混然と雄大な自然の風景を感じる。自然がその輝きを失わないように、この作品もその輝きを失うことはないだろう。



今年度の静岡音楽館AOI委嘱作品を作曲した、クリスティアン・メイソンさんより、作品についてのメッセージが届きました。



《Unseen Seasons》について
今回委嘱された合唱作品は、清少納言の名作《枕草子》のテキストからイメージし作曲しています。私自身、日本の四季を経験したことはありません。また、清少納言が生きた往古の日本の四季は、もう誰も実際には見るできません。それでも、清少納言が書き記した日本の春夏秋冬に思いを馳せ、それを私の音楽にしたいと考えています。

訳：静岡音楽館AOI 学芸員 竹内 啓



©Hiroshi Takaoka.

—— 今回のプログラムは、バッハ（ブゾーニ）、ドビュッシー、ショパン、ムソルグスキーと、ヴァリエーションに富んだプログラムですね。

あまり意図していなかったのですが、実はブゾーニとドビュッシー、ムソルグスキーの3人にはそれぞれ繋がりがあります。

ブゾーニとドビュッシーは、同年代で5歳違いだったと思います。ドビュッシーは近代音楽、特にショパン以来の独特の音楽を作り上げた作曲家です。一方、ブゾーニはドイツで活躍し、晩年はベルリンで過ごしましたが、とても知的で理論的な人物でした。数多くの評論を書き、オペラも4つ、そしてピアノ曲に関しては、CDのセットが10枚分ぐらいになるような数の曲を書いています。時代の先端を行くような理論を持っていましたが、なぜか彼が作る音楽は保守的でした。そして膨大な作品を残したにもかかわらず、今日ではブゾーニの名前を聞くのは今回演奏するバッハの偉大なヴァイオリン曲のピアノ編曲のみです。面白いのはイタリアにブゾーニ・コンクールというものがある、イタリアを代表する権威あるピアノ・コンクールですが、このブゾーニの名前をとったコンクールでさえ、本選で彼の協奏曲が演奏されることがありません。その理由は、彼の作品があまりにも大がかり過ぎることにあるようです。ピアノ協奏曲は、演奏時間が1曲で1時間以上かかります。くわえて最終楽章には男声合唱が入るのです。これではコンクールの本選には使えないですね。存命中はヨーロッパ評論界の権威で、大変な影響力を持っていました。にも関わらず、没後はほとんど忘れ去られてしまった。同じ時代に生きたドビュッシーとは全然違いますね。

そしてドビュッシーですが、意外にもムソルグスキーの影響を受けたと言われています。ひとつにはお互いに民俗音楽に関心があり、その音階を取り入れたこと。良く知られているのはドビュッシーの5音音階ですね。そして民俗音楽を積極的に発掘し使い出したのがムソルグスキーでした。お互い全く関係ないように思えますが、どこかで繋がっているのですね。

ムソルグスキーについては、今回演奏する『展覧会の絵』から面白いことをいろいろ発見しました。例えば〈プロムナード〉。これは展示されている絵と絵の間を歩いて移動している様を表していますが、この曲、どこかで聴いたことがあるとずっと思っていました。それがなんと〈赤とんぼ〉と〈さくらさくら〉だったのです。日本で最も広く、古くから親しまれているこの2曲が聴こえてくるなんて、面白いですね。〈赤とんぼ〉を作曲した山田耕筰さんは、若いころ随分ロシアを旅行し、オーケストラを指揮しています。その時、どこかでムソルグスキーのこの作品を聴いて関心したのかもしれない。

また、これは私の単なる想像ですが、〈プロムナード〉はムソルグスキーが美術館の中を酔っぱらって歩いているところではないかと思うのです。どうしてかという、普通、人間は歩く時、2拍子か4拍子で歩きますよね。それがこの曲は5拍子なのです。ということは、どこかで「トントントン」と酔ってよろめいたのだと思ったからです。実は、ムソルグスキーは猛烈なアルコール中毒でした。レービンというロシアの国民的な画家がムソルグスキーの34歳頃の肖像画を描いていて、いかにも酔っ払いという風体でとてもリアルに描かれています。機会があれば是非ご覧になってみて下さい。

—— 演奏に取り込むときに心がけていることは。

近年はとにかく「集中」すること。ひとつのことに自分がどれくらい集中力を傾けられるか。それだけです。この頃、ようやく「集中」するコツを覚えました。

—— これからプロの音楽家を目指す若い人たちにに向けてメッセージをお願いします。

今、ピアノでもヴァイオリンでも、演奏者の身体能力が上がっているよ。そういう中で20世紀前半の巨匠と言われた人たちが、アクロバティックな超絶技巧を備えた人が増えています。これから音楽家として世の中に出たい人は、先ずそういう人に立ち向かわなくてはなりません。そしてアクロバティックな技巧より、さらに大きな感動を与える必要がある、これはとても大変なことです。

聴衆は、昨日とてつもない超絶技巧を聴いたと思っても、今日また別のアクロバティックな演奏を聴くと、昨日のものは「ああ、あんなものだったのか。」というふうになってしまうのです。人間は刺激にすぐ慣れてしまいますから。一方で、ついホロリとするロマンティックで抒情性のたっぷりした美しい音楽は聴き手の心をとらえ、最終的に残るのだらうと思います。だからこれからの若い人には本当にきつい話です。益々ハードルは高くなっていますね。

—— 静岡にまつわる思い出がありましたらお聞かせください。

静岡で最初に演奏会をしたのは、私が高校1年生の時だったと思います。労音主催のコンサートでしたがその時、清水駅に降り立ったときのことをよく覚えています。労音の担当者と一緒にいると、そこに強面のおじさんが出迎えに来て下さっていました。「さすが、次郎長親分の故郷はホールの方も強面なんだ」と思ったものです。それから静岡には何かと縁があります。近年では浜松国際ピアノアカデミーで毎年浜松に足を運んでいます。また、2010年の50周年記念リサイタル・ツアーでは、グランシップで演奏いたしました。実はその時、東京から静岡までタクシーで来たのですよ。東京駅でこれから新幹線に乗ろうというときに東海道新幹線が止まってしまいました。もちろん演奏会には間に合いましたが、あの時は大変でした。1月のAOIでのリサイタルは冬なので雪の心配はありますが、何事もなく何えるように祈っています。

—— 今後予定されている企画がありましたらお教えください。

数年前にベートーヴェンのピアノ協奏曲5曲を一夜で演奏するというコンサートをやりましたが、それがとても好評でした。そして来年、私のデビュー55周年記念の一環として再度同じ企画を行う予定があります。詳細は未定ですが、決まり次第ホームページ等で発表いたします。

インタビュー中、終始笑顔でとても気さくだった中村さん。いままなお、日本のピアニストの代名詞として活躍し続けていらっしゃる中村さんのお話しには、温和な語り口の中に自然と湧き出る偉容さを感じました。みなさま、1月24日はAOIにご来場いただき、中村さんのピアノをご堪能下さい。

2013年9月18日 中村絃子氏宅にて
聴き手：竹内啓（静岡音楽館AOI 学芸員）



■ 静岡音楽館倶楽部とは？

AOIで繰り広げられる多彩なプログラムをより身近に、より手軽にお楽しみいただけるのが“静岡音楽館倶楽部”です。年度会費（4月1日～3月31日）2,000円。1月～3月までは、下記のとおり、さらにお得なキャンペーンを実施します。お知り合いの方に、ぜひご紹介ください。

■ チケット10%OFFをはじめこんなにおトクな特典が！

1 コンサートシリーズでご利用いただける1,000円割引券2枚プレゼント（5月下旬発送予定）

2 チケット10%OFF 1公演2枚まで10%OFFでお求めいただけます！

3 チケット先行発売 一般発売に先駆け、いち早くチケットをお求めいただけます！

4 AOI公演情報無料郵送サービス

5 チケット無料郵送サービス

6 ドリンク・チケットプレゼント

7 ピアニストのためのアンサンブル講座修了記念コンサートへ無料ご招待（年1回）

8 リザーブシートサービス！

シリーズ全公演のチケットをお求めいただくと、いつもお気に入りの席で鑑賞できます！

9 AOI以外でも特典が…！

静岡市美術館・ボーラ美術館・MOA美術館入館料割引

静岡市美術館・静岡市立芹沢銈介美術館の企画展チケットを抽選でプレゼント

八ヶ岳高原音楽堂（特別割引）、TSUTAYAすみや静岡本店（CD、DVD等割引）

※1～8の特典は静岡音楽館AOIが主催する公演に限りです。

※2の特典は静岡音楽館AOIが主催する「コンサート・シリーズ」と「企画募集事業」に限りです。

※割引・先行発売は静岡音楽館AOIでのみお取り扱いします。

■ ご入会方法

◎お問合せ：静岡音楽館AOI TEL. (054) 251-2200

◎AOIホームページ「お問合せフォーム」より、
その旨をお知らせください。

ご入会には、所定の入会申込用紙へのご記入が必要です。

- ①初年度会費（2,000円）
 - ②会費引落し口座番号のわかるもの
 - ③金融機関届出印
- の3点をご持参の上、ご来館ください。

速報!!

静岡音楽館AOI コンサートシリーズ 2014-15



ウィーン・カンマー・オーケストラ



トルヴェール・クワルテット



ボリス・ベレゾフスキー

第1期 2/22(土)より発売 静岡音楽館倶楽部会員 先行発売2/15(土)より

- 2014
5/29(木) オーケストラを聴こう シュテファン・ヴラダー（指揮、ピアノ）ウィーン・カンマー・オーケストラ
- 6/11(水) ランチタイム・コンサート 木越洋のチェロがうたう
- 7/10(木) JAZZ LIVE 香取良彦ジャズ・オーケストラ
- 7/21(祝) 福田進一（ギター）plays J.S.バッハ：無伴奏チェロ組曲 全曲
- 8/23(土) 子どものためのコンサート 彌勒忠史（カウナー・テナー） with アントネッロ

第2期 6/14(土)より発売 静岡音楽館倶楽部会員 先行発売6/7(土)より

- 9/13(土) 第19回「静岡の名手たち」オーディション合格者によるコンサート
- 10/2(木) ブラヴォー・アンコール！サクソフォン四重奏団トルヴェール・クワルテット
- 10/13(祝) ボリス・ベレゾフスキー ピアノ・リサイタル
- 10/25(土) AOI・レジデンス・クワルテット
- 11/3(祝) 第4回 アマチュア・アンサンブルの日 ♪
- 11/8(土) 子どものためのコンサート 音楽とおはなし《動物の謝肉祭》「静岡の名手たち」アンサンブル
- 11/27(木) 若い翼 三重奏／三浦文彰（ヴァイオリン）辻本玲（チェロ）田村響（ピアノ）
- 12/13(土) クリスマス★コンサート 鈴木雅明 オルガン・リサイタル

第3期 10/18(土)より発売 静岡音楽館倶楽部会員 先行発売10/11(土)より

- 2015
1/22(木) ランチタイム・コンサート 篠崎史子 篠崎和子／華麗なるハープの世界
- 2/ 1(日) オーケストラを聴こう 読売日本交響楽団／モルダウ&ドヴォルザーク第8番 ヴァイオリン協奏曲
- 3/11(水) 語りと箏歌、謡・舞と聲明による 良寛によせて、今。

静岡音楽館倶楽部

ご家族、ご友人にぜひおすすめください！

静岡音楽館倶楽部 ご入会キャンペーン

平成26年1月5日(日)～平成26年3月30日(日)
※1月5日より受付を開始いたします。

特典1 会員期間が
最大3カ月プラスに!!

通常 2,000円 + 2,000円 = 4,000円

ご入会日 → H26 3/31 H26 4/1 H27 3/31

ご入会日から3月31日までの期間で2,000円がかかります。

4月1日～3月31日までの期間で、次年度の年度会費2,000円がかかります。

キャンペーン中
ご入会日 ← 2,000円 → H27 3/31

キャンペーン中は、ご入会日から、翌年の3月31日までの期間で2,000円となります。

特典2 新規ご入会者先着30名様に
静岡市美術館
「シャガール展」
招待券プレゼント

2014年1月2日(木)～3月30日(日)



マルク・シャガール
《オペラ座天井画のための最終下絵》
1963年 グラフッシュ・キャンヴァスで裏打ちされた紙 個人蔵
©ADAGP, Paris & SPDA, Tokyo, 2013, Chagall®

特典3 ドリンクチケットプレゼント

AOIが主催する公演の際に8階バーカウンターでご利用いただけます。

あなたもAOIで、感動のひとときを味わってみませんか♪

AOI・レジデン・スクワルテット

2013年11月9日(土)

上利博規 (静岡大学人文社会学部教授・静岡音楽館AOI市民会議委員)

去る11月9日にAOI・レジデンス・クワルテットの演奏会 ― 曲目はバルトークの弦楽四重奏曲第3番、モーツァルトのフルート四重奏曲第3番、ベートーヴェンの弦楽四重奏曲ラズモフスキー・セットの第3番(弦楽四重奏曲の通し番号では第9番) ― を聴かせていただいた。

毎年11月恒例のAOI・レジデンス・クワルテットの演奏会では、2012年にはラズモフスキー・セットの第2番が、2011年にはラズモフスキー・セットの第1番がとりあげられたので、今年でラズモフスキー・セット3曲を通して聴けたことになる。ラズモフスキー・セット全曲を、しかも同じ演奏家によって聴けたのは幸せなことである。近年「アーティスト・イン・レジデンス」という言葉がよく聞かれるが、これも「レジデンス・クワルテット」の継続的な演奏会のおかげだろう。

ところで、ベートーヴェン以外の曲はどのように選ばれているのだろうか。是非おうかがいしたいことである。今回はバルトークの第3番、モーツァルトのフルート四重奏第3番だったが、まさかラズモフスキーの第3番を含め、3番つながりというわけでもなからう。バルトークの弦楽四重奏曲第3番は全6曲の中でもハードだし、モーツァルトのフルート四重奏曲の第3番は作品番号が追加(Anh.)された2楽章形式のかわった作品である。そういうこともあって、これらの曲を選択された意図はどこにあるのか知りたくなる。きっと演奏者の思いがいろいろおありのはずだが、それを聴衆に少し明かしてはもらえないのだろうか。演奏会にはいつも丁寧なプログラム解説を用意していただいているが、演奏者についての解説は毎年同じなので、演奏者からの選曲や

演奏についての一言があれば、せっかくの「レジデンス」がより身近で親しいものになるのではないかなどと思ったのもする。

私は素人なので演奏そのものについて評論じみたことは言えないが、プログラムの3曲とも、そしてアンコールのバッハ(管弦楽組曲第2番のボロネーズ)も、エネルギーやスピード感到満ちた演奏だったように感じ、印象的だった。この3年間のAOI・レジデンス・クワルテットの演奏会の中で、私にとっては今回が最も強く音楽を感じ取れた演奏だった。「クラシック音楽を多くの人に」を合言葉に様々な企画が行われているが、聴きやすい曲や楽しい曲を提供するだけでなく、深く音楽的で、いわゆるlebendig(生き生きとした)な演奏こそが、多くの人がクラシック音楽を愛することにつながるのだということを再確認できた。

いい演奏会、つまり音楽的な演奏はどうやって生まれるのだろうか。AOIの市民会議では、AOIがどのような音楽を社会に提供すべきかについて活発に議論されているが、その答は、コンサートシリーズの企画に誰のどの曲をとりあげるか、あるいはどのような演奏者に演奏を依頼するか、とは違ったところに見つけるべきなのかも知れない。今回の演奏を聴いて、こんなことを漠然と考えた次第である。



撮影：日置真光

CONCERT REPORT コンサートレポート

第3回 アマチュア・アンサンブルの日 2013年10月6日(日)

去る10月6日(日)、第3回アマチュア・アンサンブルの日♪が開催されました。36組の応募から抽選で選ばれた24組が舞台上に立ち、日頃の成果を披露しました。4部構成で6時間半にもわたる長時間のコンサートでしたが、非常に楽しいコンサートとなりました。



撮影：日置真光

スプリング・Birds.

トロンボーン・アンサンブル・セリシア

アンサンブル静岡

出演者から

- 楽しく演奏でき、良い経験となった。
- プロの方々と同じ舞台上で演奏できてとても嬉しい。
- AOIの響きがとても心地よかった。
- AOIのホールで演奏するという体験が普段の練習などの励みになる。
- 来年もぜひ参加したい。

来場者から

- 色々な種類のアンサンブルを一度に聴くことができて素晴らしい。
- 「アマチュア・アンサンブルの日♪」は市民が気軽に音楽に親しめる貴重なイベントだと思います。芸術の秋を楽しむにはもってこいのイベントですね。
- 色々な種類のアンサンブルを一度に聴くことができて素晴らしい。
- 「アマチュア・アンサンブルの日♪」は市民が気軽に音楽に親しめる貴重なイベントだと思います。芸術の秋を楽しむにはもってこいのイベントですね。
- 色々な種類のアンサンブルを一度に聴くことができて素晴らしい。
- 「アマチュア・アンサンブルの日♪」は市民が気軽に音楽に親しめる貴重なイベントだと思います。芸術の秋を楽しむにはもってこいのイベントですね。

東日本大震災復興支援コンサート

野平一郎 ピアノ・リサイタル in 盛岡

2013年10月9日(水)プラザおてって

静岡音楽館AOIは東日本大震災以後、チャリティーコンサート「静岡音楽館AOIの仲間たち」(2011年8月11日)を開催、震災で東北から来演できなくなった「奥州平泉・毛越寺の法会」を今年11月17日にあらためて開催するなどしましたが、このたび東北で野平一郎芸術監督によるピアノ・リサイタルを開催することができ、とくに沿岸部から盛岡に避難されている方々にもご来場いただきました。小さな会場でしたが、それだけにピアニストと聴衆との距離感が近く、親密なコンサートになりました。「復興支援」というより、ただ音楽を楽しんでいただきたい、という芸術監督の想いが伝わったと思います。

曲目
J.S. バッハ：G線上のアリア 管弦楽組曲第3番 ニ長調 BWV1068 第2曲
W.A. モーツァルト：(きらきら星)変奏曲 ハ長調 K.265(300e)
L.v. ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第14番「月光」嬰ハ短調 op.27-2
林光：宮沢賢治の詩による「軽便鉄道の一月」(グランド電柱)「ポラノの広場のうた」
武満徹：《閉じた眼II》
P.L. チャイコフスキー：《四季》op.37b より 1月(郊外にて)、9月(狩)、10月(秋の歌)
C. ドビュッシー：《子どもの領分》
アンコール
F. ショパン：子犬のワルツ 変ニ長調 op.64-1
R. シューマン：トロイメライ op.65-7

アンケートより
多くの偉い命を持ち去った津波ですが、たくさんの魂に届いたことと思います。天国でも聴いてくださっているものと思います。そして、支援者である私たちに勇気と力をいただきました。



AOIやがりのアーティスト

2006年度より始まったピアノ伴奏法講座は8年目に入りました。今年度より「ピアニストのためのアンサンブル講座」とタイトルを改め、よりアンサンブルを意識しています。第1期より講師をつとめてくださっているのが漆原啓子さん。ソロ活動以外にもアンサンブルでも大活躍されていらっしゃいます。10月25日には「萩原麻未の室内楽」にもご出演いただきました。そんな漆原さんにお話をうかがいました。



漆原啓子さん(ヴァイオリン)

ヴァイオリンを始めたきっかけは?

実は私はとてもシャイだったんです。なかなかお友達と話すこともできなくて。それで、通っていた幼稚園の園長先生が母に「ヴァイオリンでもやらせてみたら?」と勧めてくださって、幼稚園でやっているヴァイオリン教室に連れて行かれ、のぞいてみたら「やりたい!」と言ったのが始まりだったみたいです。5歳くらいのことだったかな。自分では全然覚えていないんですけど。ピアノは3歳のころから始めていたんですよ。そして父がクラシック音楽が非常に好きだったので、家ではいつもレコードがかかっていた。父のお気に入りにはカラヤン指揮のベルリン・フィル、ヴァイオリニストはオistrav、ピアニストだとケンプでしたね。母もわたしがお腹にいるときからよくクラシックを聴いていたそうです。小さいときに聴いたのは覚えているのか、オistravの演奏を聴くと、いわゆるおふくろの味じゃないですけど一番しっくりくる感じがします。ピアノ・ソナタなんかも、なんとなく知っている気がする時があって、それはきっとうちでレコードがかかっていたんだと思います。音楽をやってもおかしくない環境にはあったということなんでしょうね。

長年、ピアノ伴奏法講座(ピアニストのためのアンサンブル講座)の講師をつとめてくださり、ありがとうございます。ピアニストが楽器の奏者からアドバイスをもらう機会はあまりないので、とても貴重だと思います。ヴァイオリニストとして、アンサンブルの際に心がけていることを教えてください。

ピアノとヴァイオリンでは音質が違うので、発音(音の出し方)や音の立ち上がりを気にかけています。ピアノはすぐに音が鳴りますが弦楽器は時間がかかります。またピアノはいったん音が鳴ると減衰していくのみなに対してヴァイオリンは音を伸ばすことができます。(もともと、ちゃんと歌っていると聴いている人にはその伸ばしたいという思いは聴こえますよ。弾きっぱなしだと聴こえませんが、伸ばしたいと思っていれば、鳴ってないかもしれないけど聴こえます。)ヴァイオリンとピアノの音がそろっていないとアンサンブルとしておかしいことになってしまいます。あるいはスタッカートにしても、ヴァイオリンが柔らかなスタッカートでピアノが硬めのスタッカートだとちがはぐです。ピアニストの人にはそのことを意識してもらえると良いアンサンブルになると思います。一方、弦楽四重奏のような弦楽器のみのアンサンブルでは音質についてはあまり気にしなくても大丈夫ですので、弓のスピードやヴィブラートの種類などをあわせるように気をつけています。あとは会場、つまりホール

にもよりますが、弦楽器だけの場合はダイナミック・レンジ(強弱の幅)が広いので、会場に見合ったPピアノシミュレーションにしています。

若い演奏家に、アンサンブルをするときのアドバイスをお願いします。

すぐに成果が出なくても、長い目で見て、いつか実を結ぶ時がくればよいと思います。意識が変わるだけでも全然違ってきますから、いろいろ考えるようになって人の音を聴けるようになれば、すてきなアンサンブルになるのではないのでしょうか。そして相手と話をコミュニケーションをとり、考え方が違うならとりあえずそのアイディアを全部一度やってみて。やってみると、言った本人が、あれっ、違うななんてこともよくありますよ。アンサンブルは楽しいですね。

いろいろな話をきかせてくださった漆原さん。非常に興味深いことばかりでした。3歳から始めたピアノは好きでずっと続けていたそうです。レッスンでは自らピアノ・パートを弾くこともあるとか。そんなところにもピアニストにアドバイスくださる一端を見た気がしました。今期の「ピアニストのためのアンサンブル講座」は始まったばかり。どうぞよろしくお願いします。

第8期「ピアニストのためのアンサンブル講座」修了記念コンサート

日時：2014年3月16日(日) 15:00 開演(14:30 開場)
全自由¥2,000(22歳以下¥1,000) 静岡音楽館倶楽部会員：無料
出演：漆原啓子(ヴァイオリン)、向山佳絵子(チェロ)、野平一郎(ピアノ)、第8期ピアニストのためのアンサンブル講座受講生

漆原啓子さんの おすすめCD



ヘルベルト・フォン・カラヤン指揮
ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団
DEUTSCHE GRAMMOPHON
発売番号 POCG-3430
父が大好きだったカラヤンとベルリン・フィルハーモニー管弦楽団による《ロメオとジュリエット》は10歳の誕生日にももらった思い出深いレコードです。

静岡音楽館AOIの市民会議委員ってどんな人? ⑧

AOIがコンサートを制作する際には芸術監督、企画会議委員の意見の他に、音楽にゆかりのある方や公募により選ばれた委員で構成された市民会議の意見も反映しています。聴衆に近い視点から意見をいただくことによってより良いコンサート作りに努めております。このコーナーではそんな市民会議委員を紹介します。



戸崎裕子

合唱指揮者、音楽育菜会・静岡児童合唱団 主宰

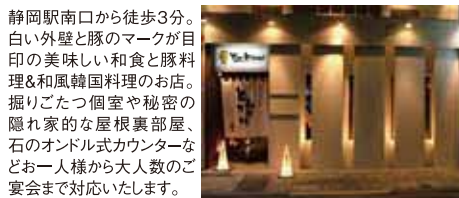
AOIの活動で静岡の子どもたちが育っているんだなぁと実感できることです。「静岡の名手たち」オーディションやピアノのためのアンサンブル講座もそうですよね。文化とか芸術とか音楽とか、人を育てる力がある。小さいことの積み重ねかもしれないけど、AOIは人を育ててきたと思います。18年の蓄積で、AOIの成果がちよっとづつ現れてきている。これからのAOIは、そこに素晴らしいコンサートがあるというだけでなく、もっと社会と関わって、子どもたちにいい影響を与えていくこともだいじだし、子どもたちにいい影響を与えられるような、もっとすてきな大人たちも、AOIによって育っていったらいいなぁと思います。(談)

Ticket de Smile

加盟店のご紹介

Ticket de Smile加盟店は静岡街中に57店舗!
ぜひご利用ください。

※チケット記載の日付(期間)に限り1回ご利用いただけます。
※チケットを提示されたご本人さまのみ有効です
(店舗によって異なる場合があります)。



居酒屋とんからり

TEL.054-281-6067
静岡市駿河区南町2-1
営業時間/17:00~24:00
(日曜定休。祝日の場合は営業、翌日休み)



おすすめ豚料理一品あげる☆

樽生ビールが常時10~15種。
クラフトビールの専門店です。

ビールのヨコタ

TEL.054-255-3683
静岡市葵区呉服町2-5-22 ソシアルカドデビル2F
営業時間/17:00~24:00
土・日・祝 15:00頃~24:00
(月曜日定休)
http://beer-yokota.com

- ・限定醸造・ブロンプトンエール
Pint 800円 Glass 550円
- ・各種クラフトビール ~1,000円
- ・砂肝とザーサイのピリ辛和え 500円
- ・チョリソーの春巻き 1P 250円
- ・マッシュルームロースト 650円



**オリジナルビール
1杯サービス**
※チケットに記載の日付(期間)から
1週間後まで1回限り有効

参加者募集!

いずれも年1回の募集です。
お見逃しなく。

第15回「静岡の名手たち」オーディション

静岡音楽館AOIでは、新進音楽家の発掘と育成のためにオーディションを開催します。合格者は、2014年9月13日(土)「静岡の名手たち」オーディション合格者によるコンサートへの出演が決定しているほか、今後(公財)静岡市文化振興財団が主催するコンサートへの出演などの機会に恵まれます。

- 日程及び部門/ 2014年5月4日(日・祝) 鍵盤楽器・邦楽部門(順不同) 2014年5月5日(月・祝) 管楽器部門・アンサンブル部門(順不同)
- 審査員/ 野平一郎(審査員長)、佐久間由美子、志村泉、田村博巳、福田進一、松原勝也、山登松和 ※50音順
- 募集定数/ 150組
- 参加料/ 1組 ¥3,500
- 申込締切/ 2014年3月7日(金) 必着

第15期 ピアニストのためのアンサンブル講座(ピアノ伴奏法講座)

音楽的・技術的指導はもちろんのこと、楽曲分析や楽器奏者の視点にたった講義、さらにはピアノという楽器をよりよく知るために調律師によるお話しもまじえるなど実践と理論を同時に学ぶことができ、毎年多くの応募がある全国的にも貴重な講座です。意欲的なピアニストのご応募をお待ちしています。

- 講師/ 野平一郎(作曲家、ピアニスト、静岡音楽館AOI芸術監督) 漆原啓子(ヴァイオリン奏者)、横川晴児(クラリネット奏者)
- 日程/ 2014 ①7/12(土)、②13(日)、③9/20(土)、④21(日)、⑤10/18(土)、⑥19(日)、⑦12/6(土)、⑧7(日)、2015 ⑨3/14(土)、⑩15(日)
- ①、②はクラリネット、③、④はヴァイオリン、⑤~⑧はトリオ、⑨は両者、⑩は修了記念コンサートを開催予定。
- 会場/ 静岡音楽館AOI・ホール(8階)、講堂(7階)
- 受講料/ ¥120,000
- 定員/ 6名
- 申込締切/ 2014年4月20日(日) 必着
- 聴講生随時募集中!
- 聴講料/ 一般: 奇数回¥2,000 偶数回¥3,000(第10回を除く) 22歳以下: ¥1,000 ※1日有効 お得な10回通し券もあります。 一般¥20,000、22歳以下¥9,000

第16回「静岡音楽館AOIコンサート企画募集」事業

静岡音楽館AOIでは、静岡ゆかりの音楽家からコンサートの企画を募集します。AOIのノウハウを活かして一緒にコンサートを作りませんか? 最大70万円までAOIが助成いたします。この機会でなければできないような、新鮮で意欲的な企画のご応募をお待ちしています。

■申込締切/ 2014年5月31日(土) 必着

第16期 子どものための音楽ひろば

静岡音楽館AOIでは、音楽を通じた幅広い経験をすることによって、子どもたちが自らの能力に気付くことを願い、当講座の運営を行っています。本物を聞き分ける耳・見分ける目・豊かな感性を養うことを目指し、第1線で音楽活動が続ける講師陣が、今の子どもたちへメッセージを伝えています。

- 場所/ 静岡音楽館AOI・講堂(7階)ほか
- 定員/ 50名 ※応募多数の場合は抽選
- 対象/ 新小学校4年生~中学校3年生
- 受講料/ ¥12,000
- 応募締切/ 2014年3月14日(金) 必着
- 日程/ 概ね月2回 土曜日開催(全24回) 開講式 2014年5月3日(土・祝) 修了会 2015年3月7日(土)
- 時間/ 13:30~16:45(1コマ90分程度) ※通常1回2コマ。

募集要項をご希望の方

静岡音楽館AOIのホームページよりダウンロードしていただくか、静岡音楽館AOI受付カウンター(7階)へどうぞ。

静岡音楽館倶楽部会員の皆さまへ

お名前、ご連絡先、銀行口座等、ご登録内容に変更が生じた場合は、速やかに下記までご連絡ください。なお、平成25年度をもって退会をご希望のかたは、平成26年2月末日までに、静岡音楽館倶楽部事務局へ退会会書をご提出ください。ご提出のない場合は自動更新となりますので予めご了承ください。

静岡音楽館倶楽部 法人会員(2013年11月末現在)50名順

- (株)アオイテック ●(株)静岡博覧堂
- (株)SBSプロモーション ●(株)タミヤ
- かわした歯科クリニック ●(株)戸田書店
- コカ・コーラ セントラルジャパン(株) ●(有)丸吉事務機
- (株)サンタモンコーポレーション ●三菱電機(株)静岡製作所
- 静岡ターミナルホテル(株) ●(株)メディア・ミックス静岡

コンサートシリーズ2013-14

主催 静岡音楽館AOI 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団

特別協賛 静岡信用金庫

協賛 アイワ不動産

HARVEST HOMES

コカ・コーラ セントラルジャパン株式会社

ホテル センチュリー 静岡

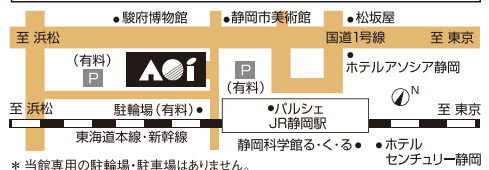
次のことを予めご了承の上、チケットをお求めください。
皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

- * 価格は税込です。
- * 都合により内容を変更する場合があります。
- * お客様のご都合によるチケット代の返金、座席の変更は致しかねます。
- * 場内での飲食、写真撮影、録音、録画は固くお断りいたします。
- * 携帯電話、アラーム付時計等の使用はご遠慮ください。
- * 他のお客様の鑑賞の妨げとなる行為は固くお断りいたします。
- * 静岡音楽館AOIは、施設の構造上、会場準備が整わない状態(開場時間前)で、お客様を8階ホールへご案内することができないため、通常エレベーターは7階止になっております。開場時間になるまで1階エレベーター前か、7階ロビーまでお待ちください(ただし、1階エレベーター前までお待ちいただいたお客様を優先してご案内いたします)。
- * 静岡音楽館AOIが主催するコンサート(一部を除く)では、未就学児は入場いただけません。



託児サービス(AOIの主催事業に限りです)
要事前予約(1週間前まで)・託児料: 1人¥1,000
すわん TEL.054-255-5377(9:00~21:00)
留守番電話の場合は、お名前・お電話番号を録音してください。

JR静岡駅北口を出てすぐ左



CONCERT HALL SHIZUOKA
静岡音楽館 AOI

月曜日休館(ただし祝日開館、翌日休館) 9:00~21:30開館
〒420-0851 静岡市葵区黒金町1番地の9

お問合せ

054-251-2200

AOI 検索